

第3回 瑞穂市老人福祉計画策定・推進委員会 会議録

日 時 平成26年12月12日(金) 13:30 ~ 15:40

場 所 瑞穂庁舎3階 第一会議室

1 開会

2 あいさつ(会長)

3 議事

(1) 老人福祉計画(案)について

事務局	(事務局より説明) ・計画書の構成全般について ・第1章「新しい介護予防・日常生活支援総合事業の取り組み」 ・第2章「認知症高齢者の支援体制の整備課題」 ・第3章「基本理念」 ・第4章「事業の統合」「認知症」 ・資料編「用語解説」
会長	ありがとうございました。 前回、いろいろとご意見をいただいたと思いますが、それも踏まえて、何かご意見ございますか。先ほどの「認知症初期集中支援チーム」については詰めていますか。
事務局	まだ何も詰めておりません。
会長	いろいろな課題を整理して、見える形に。 なかなかやれというのは酷かもしれないが、文章でこういうことを対策とするとか表せると、読む側にわかりやすくて良いです。
事務局	そうですね。
会長	課題の所で、「通院のための交通手段を支援してくれるサービス」の希望が最も多いですね。バスのサービスですが、本数が少なく、とても使いにくい。これは福祉生活課ですか。
事務局	「みずほバス」ですか。 総務課になりますが、色々なルートがありまして、最善と思われる方法で実施しています。
会長	少ないから、ますます利用者が減っていく。通院の時間を何とかして。
事務局	ここに関しては、今のところ解決案がなかったのですが、あえて課題で出しましょうと。
会長	そうですね。
委員	「買物等支援事業」というのが<検討>になっていますが、これは買物に限定ですか。
委員	最初は買物に限定して、安定してきたら通院とかを考えます。 ちょっとした助け合いの口火になればと思って、少しずつ進めていこうと考えています。
会長	これからやろうとしているのですか。
委員	そうです。
会長	地域住民の方が運転手になってやるのですか。
委員	ただ、運転手さんは、有償でやられるかもしれないです。

事務局	今のお話で、通院の支援を兼ねるとのことですか。融通が利くのですか。
委員	そうです。買物「等」と入れてありますので、買物に限定せず、例えば、季節によれば、花見の方が多ければということです。 当初は、買物から始めますので「等」と入れたわけです。
事務局	ありがとうございます。
会長	これに対して、市から支援があるのですか。
委員	最初のパソコンとかそういった事務機器を市によって賄います。 あと、車の維持や車検等いろいろ出てきますが、会費で賄っていきます。
会長	これからの社会は、地域で助け合って、組織がうまく働く。 いかがでしょうか。何か自分の専門性なりの部分で、ぜひ、具体的なご意見をいただいて。 こういう会議というのは、そのまま進んでいってしまうことが多いように思います。
委員	少し軽微なことで申し訳ないですが、この計画書のタイトルで、今の5ページに書いてあるように、「第6期」とするか、それとも下のほうに27年度～29年度と入れたほうが、識別がきちんとつくと思います。
事務局	おっしゃるとおりです。ここに年度を入れようと思います。
委員	それから、まとめて発言していいですか。41ページからの「施策の展開」で、26年度がありませんが、見込み数値というか、ある程度、硬い数字を挙げておいて、あとは目標で27、28、29といかないと、何か1年飛んでいますので、せっかくこれだけ立派な計画を作って、次に作られるときは、もう実績として出るので、入れられたほうがいいと思います。 あと、55ページの「住まいの確保」のところ「養護老人ホーム」は分かるのですが、そのほかに、「特養」があります。そういうものとか、ここで扱うべきものかはわかりませんが、医療機関が持っている「老健施設」など、そういう施設も市民にしてみれば大事なところで、その説明が必要ではないかと思います。
事務局	前期計画では、用語解説の所に入っていましたね。
委員	その関連で、サービス付き高齢者向け住宅は。
事務局	ここには入れてないです。
委員	一般の年寄りから見れば、特養であろうが老健であろうが、自分も弱くなった、どこへ入ろうかという時のために、そういう説明書きがないと。
事務局	別に、ここに載っていない用語だから載せてはいけない訳でもないかと思うので、用語解説のほうであれば載せてもいいかと思います。 あと「26年度がない」というお話ですが、前期計画に目標値が載っており、こちらにも載せるとなると、今の予定の数字を入れることとなりますが、来年、皆様に集まっていた時に、27年度の目標値があれば、それに基づいて検証ができるかなと、あえて入れてません。
委員	26年度は、見込み数ということでやればいいのです。 前期計画は目標値であがってる訳ですから、それで何ら計画と違って、それは異なって当たり前のことです。 何か、素人がパッと見たときに、26年度が抜け、せっかくこれだけの計画を作られたのなら、それも分かるようにやったほうがいいと思います。
会長	それは実績値ではない、目標値でもないですね、今やっている。

委員	進行形ということだ。
会長	26年度を入れるかどうか。ちょっと事務局で検討していただいて。
事務局	そこは委員の皆様方に諮っていただいて、前期計画の数字は無視ということで。
委員	それは変わってくるわけです。
委託業者	市町村によりましては見込み値という形で入れています。 やり方はいろいろありまして、ひと月分を1.2倍するとか、4月～9月の平均値を1.2倍するとか、半年分を2倍するとか、やり方は決まってない訳です。 そういう形で入れるところがありますので、形を検討されるということはあるかと思えます。
会長	入れる入れないは、どちらでもいいので、事務局の方で、もう一度お願いします。
事務局	検討します。
委員	単語で51ページの「認知症疾患医療センター」というのが、よく分からないのですが、 どういうところを指すのですか、先生、ご説明をお願いします。
会長	認知症疾患医療センターというのは、岐阜県で7か所あります。
委員	それは指定したところですか。
会長	指定です。この地域だと、黒野病院。認知症の専門家がそれぞれいて。
委員	ありがとうございます。
委員	このアンケートの結果を見ていますと、結構、字が小さい。他と比べると少し小さい。 もう少し見やすい形にならないですか。 下が空いているので、下へ大きくすればと思います。 もう一つは、どこかに写真が入っていましたが、同じような形で、特に45ページの下福祉協力校というところですが、内容はこういうことをやっていますということで、下に写真をお願いします。
事務局	実は、写真を探しているのですが、なかなか適当な物が無いんです。 もし、社協さんの方でありましたら、何かいただけますか。
委員	いろいろな方が写ってみえますが、了承を得られれば問題はないと思いますので、探しておきます。
会長	このようなことをやっていますという形で。 それとアンケート結果の字が小さいというのは、もう少し見やすいように。
委託業者	字の大きさについては、なるべく大きくさせていただこうと思います。 ただ、アンケートのグラフごとに字の大きさが違うと、統一感がないものですから、一番大きいグラフで字の大きさが決定されてしまいます。 また、グラフを3つ載せると大変、窮屈になるため、2つだけ余裕を持って載せるため、スペースができてしまうわけです。 これは編集上の要因からきておりますが、統一感を失わない範囲で、なるべく大きく見せるような形にしたいと思います。
委員	例えば、16ページの「運動器（骨・関節・筋肉・神経など）」という文字サイズ。
事務局	これは、下の文字と同じ大きさにします。
委員	運動リスクを上段で示して、アンケート部分のところを下に。
委託業者	こちらもちまた、事務局とレイアウトを検討したいと思います。

委員	15ページの「同居者」の帯グラフですが、これは多分、複数回答ではないかと思えます。棒グラフにしないといけないのでは。
事務局	「合計値が100%にならない場合があります」と注釈があるのですが、ご指摘のとおり、確かにこのグラフではおかしいですね、修正します。
会長	それでは、できるだけ見やすいように作っていただくということをお願いしたいと思います。では、内容について、何かご意見はありますか。
委員	55ページの「住まいの確保」の「有料老人ホーム」ですが、上段の介護施設、下段の有料老人ホームって何ですか。
事務局	今、考えておりますのは、住宅型有料老人ホームです。
会長	その他の老人ホームは。
事務局	老人福祉法に基づくものなので、介護付きですと、介護保険計画に載せることになりますので。
委員	住まいとしての確保。介護サービスは定かではないですけど。
委員	よく言われるのですが、本当に健康体でないと一般的な住宅では住めないですよ。
委員	サ高住や介護型有料老人ホーム、健康型有料老人ホームはどうですか。
会長	では、一度調べてください。内容はこれでよろしいですか。まだありますか。
委員	「忘れん脳教室」について「認知症の理解を深め」とありますが、認知症の方を支援する側に対する教室ではなく、ご自身が認知症にならないよう予防するためのものですので、文言を変えたほうがよいと思えます。
会長	事務局、わかりますか。
事務局	すいません。ちょっとわからないです。
会長	では、どのように書いてあげればいいですか。
委員	例えば、どうですか。「認知症予防に取り組み」とか「早期認知症予防」など。
委員	そちらの方で。
会長	他、ありますか。はい、どうぞ。
委員	54ページですが、前回もあがっていた、介助の時の。
事務局	介護マークです。本人ではなく、介助者が用いるものです。
会長	介護をする方が、周囲に知ってもらわないと、お金がかからない形で。そういった、助け合ってより良い社会をつくっていくには、どうすればいいですかね。
事務局	教育の現場から変えていく必要があると思えます。福祉協力校とか。
会長	そう、福祉協力校ね。
委員	これはどんな活動ですか。
委員	心と体の実習みたいなことをします。
会長	何かそのほか、瑞穂大学能力活性学部「おじいちゃん、おばあちゃんも学校へ行こう」というタイトルですが、これはどうですか。
事務局	能力活性は、毎年、各小学校でやるようです。
会長	どこが主催しているのですか。
事務局	生涯学習課です。
会長	これは福祉生活課ではないのですか。
事務局	はい。高齢者の方に公文のような学習みたいなことをやるようです。

会長	公文書の勉強をするのですか。地域ですか。
事務局	毎年学校を変えて、今年、穂積中学校だったら、来年は、本田小というふうに。
会長	他にありますか。
事務局	41ページの「はつらつ」とか「運動機能」42ページの「口腔機能」は、3か月集中してやります。 あとの「すまいる」からは毎月です。年間通してずっとです。 当市では、認定率が、それ程伸びていませんので、効果があるわけです。
会長	介護保険の認定率がですか。
事務局	はい。介護保険の認定率がぐんと上がってきていないので、こういったものが効果があるのではないかと思います。 みんなの元気な顔を見て、こういった教室に参加した方がいいという方もたくさんいます。
委員	老人福祉計画だから、介護保険法のところは載せれない話ですよ。
事務局	介護保険を使っていない方の教室なので、高齢者施策として載せています。
会長	もう少し目玉をつくることと、目標を明確にすることです。 介護認定を受ける人を、例えば5パーセントというふうに明確に。 要介護にならないように予防することが大切なので、介護認定率を下げることに目標を定めて、是非、そういうようなことも今度は申し送りです。

(2) パブリックコメントについて

会長	それでは、パブリックコメントについて、説明をお願いしたいと思います。
事務局	(事務局より説明) ・対象者、期間、閲覧場所、提出方法
会長	ありがとうございました。 パブリックコメントにつきまして、何かご意見等ございますか。

(3) その他

会長	では、その他としまして何かございますでしょうか。 事務局から何かありますか。
事務局	この後、研究チームへの意見聴取を行う予定です。 また、パブリックコメントで意見がありましたら、第4回の策定委員会を実施します。 以上です。
会長	では、これで策定委員会を終わります。ありがとうございました。ご苦労さまでした。
一同	お疲れさまでした。
会長	あいさつをお願いします。

4 閉会

事務局	はい。これにて第3回瑞穂市老人福祉計画策定・推進委員会を閉会させていただきます。 本日は、長時間にわたりましてご審議いただきまして、ありがとうございました。 お帰りの際は、お気を付けてお帰り願います。
会長	これにて終了です。
一同	ありがとうございました。